

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	50千円	43千円	600千円	0千円
	総人件費	228千円	242千円	229千円	
	総事業コスト	278千円	285千円	829千円	

部等名	課等名	係等名
こども部	こども育成課	こども施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	02	01	13	子どもの遊び場設置事業に要する経費

事務事業名		01 子どもの遊び場設置事業		指標名	各区会等が管理する遊具の設置及び修繕件数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	各区会等からの遊具の設置及び修繕に対する補助金交付件数				
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
総合戦略		- - - -		実績	6件	1件	1件					その他の指標	-				
個別計画		次世代育成支援対策行動計画・後期計画		H28年度				H29年度									
根拠法令等		こどもの遊び場遊具設置修繕補助金交付要綱		改善目標	各区長へ通知し、補助金を申請しやすい体制をつくる。				改善目標	子供の遊び場設置事業をより広く周知する。							
事業分類		E 補助金・負担金事業		事業計画	8月に区長へ通知し、周知する。				事業計画	昨年度は年1回だった市報での周知を、年2回(8月、12月)とし、子供の遊び場事業を広く周知する							
執行体制		補助金(直接)		活動実績	子どもの遊び場設置事業を多くの方に周知するため、市報に掲載した。平成28年度は1件、豊里地区の遊具修繕に補助金を交付した。				上半期活動実績	-							
事業の目的		子供に安全な遊び場を与え、心身の健全な発達に資することを目的として、区会等が行う子供の遊び場の遊具の設置及び修繕に要する経費を補助するため。		成果	遊具の修繕に対して補助金を交付し、地域の子ども達が安心して遊べる環境をつくることできた。				上半期成果	-							
事業の概要		区会等からの遊具等の設置及び修繕等の申請を受け、補助の要件に該当する場合に補助金の交付を決定し、実績報告を受け補助金額の確定を行う。遊具の設置及び修繕費用の2分の1を補助。ただし、設置500千円、修繕50千円を限度。		課題	子どもの遊び場設置事業の周知について検討する。				課題	-							
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-				
ISO 14001		H29環境関連性		評価		有効性	中:適切な成果が得られている		評価		有効性	-					
						効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-					
						総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-					
												H30年度当初積算根拠	-				
												H30年度の方向性	理由 -				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	246,787千円	213,825千円	246,258千円	0千円
	総人件費	6,932千円	6,878千円	10,138千円	
	総事業コスト	253,719千円	220,703千円	256,396千円	

部等名	課等名	係等名
こども部	こども育成課	こども施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	02	04	13	保育所管理に要する経費

事務事業名	01 公立保育所施設維持管理事業	指標名	保育所数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	管理委託や施設の定期点検、修繕工事を実施した公立保育所の数				
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
		実績	23ヶ所	23ヶ所	23ヶ所											
総合戦略	- - - -	H28年度				H29年度				その他の指標	-					
		改善目標	経年劣化の著しい保育所について、統合や廃止等の具体的な方向性を示していく。				改善目標	経年劣化の著しい保育所について、補強工事を実施し、安全性の向上を図る。								
個別計画	-	事業計画	年間を通した保育所の修繕と施設管理委託等を行い、施設の維持管理を行う。経年劣化に伴う対策を検討していく。				事業計画	年間を通して修繕と委託業務を実施し、保育所の維持管理を実施する。 ・経年劣化が著しく緊急性の高い保育所(稲岡,上ノ室,上境,上広岡,岩崎)について、早急に施工可能な簡易的補強工事を検討し実施する。								
根拠法令等	つくば市耐震改修促進計画		活動実績					上半期活動実績								
事業分類	F 施設等維持管理事業	成果	・統合や廃止ではなく、今ある施設の有効利用を目的に大規模改修工事を実施した。 ・施設の維持管理に必要な業務委託や施設修繕を随時実施した。				課題	・経年劣化の著しい保育所について、補強工事を検討する。								
執行体制	一部委託		事業の進捗状況					事業の進捗状況								
事業の目的	入所児童等の安全を確保するため。	事業の概要	・保育所機械警備委託及び消防施設点検等の施設管理委託を実施する。 ・建築基準法第12条に基づく建築物及び建築設備劣化状況の点検(福祉施設定期点検)を実施する。 ・保育所施設の修繕工事の実施する。 ・つくば市耐震改修促進計画に基づいて実施した耐震診断の結果において、耐震性に疑いが残る公立保育所の方向性を検討する。				評価	有効性 中:適切な成果が得られている								
ISO 14001	H28環境関連性		達成					達成								
	H29環境関連性	効率性 中:適切な費用対効果が得られている				効率性 -										
		総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価 -										
											事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
											事業費(A)	246,787千円	213,825千円	246,258千円	0千円	
											国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
											県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
											地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
											その他特財	0千円	54,946千円	53,970千円	0千円	
											一般財源	246,787千円	158,879千円	192,288千円	0千円	
											人件費(B)	6,932千円	6,878千円	10,138千円		
											正職員	0.80人	0.80人	1.30人		
											時間外勤務	370.17時間	350.00時間	180.00時間		
											臨時職員等	無	有	-		
											事業コスト(A+B)	253,719千円	220,703千円	256,396千円		
											H30年度当初積算根拠	-				
											H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	93,744千円	95,941千円	98,184千円	0千円
	総人件費	3,870千円	9,492千円	10,953千円	
	総事業コスト	97,614千円	105,433千円	109,137千円	

部等名	課等名	係等名
こども部	こども育成課	放課後育成係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	02	05	11	児童館運営に要する経費

事務事業名	01 児童館運営事業	指標名	児童館利用者数				指標種別	成果指標	指標の概要	各事業実施による児童館利用者数。						
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度					
		実績	400,749人	415,855人	442,304人											
総合戦略	- - - -		H28年度				H29年度				その他の指標	大曽根児童館利用人数 平成28年度 36,813人				
		改善目標					恒常化している行事の見直しを行う。 地域組織活動(母親クラブ)の会員の減少を防ぐ。									
個別計画	つくば市子ども・子育て支援プラン	事業計画	「02児童館運営事業」と「03大曽根児童館(指定管理者委託)事業」を統合				各児童館で行う行事のほか、放課後子供教室を児童館で実施する。地域組織活動(母親クラブ)について、合同事業やホームページなどを活用し、活動内容を周知する。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
根拠法令等	児童福祉法	活動実績					上半期活動実績				事業費(A)	0千円	0千円	98,184千円	0千円	
事業分類	A 任意的事業	成果					上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	職員のみ	課題					課題				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	子供同士が共に遊びながら自主性・創造性及び協調性を養い豊かに成長していけるよう指導・援助を行う。また、地域組織活動団体等の子育て支援団体が円滑に活動できるよう助成を行うため。										地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	・一般来館児童の遊びの指導 ・乳児及び保護者等の交流を助成 ・児童館利用者の怪我等に対応するため施設利用者傷害保険へ加入運営に必要な消耗品の購入及び備品等の修繕 ・地域組織活動(母親クラブ)の育成及び合同事業の実施										その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
											一般財源	0千円	0千円	98,184千円	0千円	
											人件費(B)	0千円	0千円	10,953千円		
											正職員	従事割合	0.00人	0.00人	1.35人	
											時間外勤務	0.00時間	0.00時間	346.00時間		
											臨時職員等	-	-	無		
											事業コスト(A+B)	0千円	0千円	109,137千円		
											H30年度当初積算根拠					
ISO 14001	H28環境関連性	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度の方向性	-	理由	-			
	H29環境関連性	有効性	-			有効性	-									
		効率性	-			効率性	-									
		総合評価	-			総合評価	-									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	93,744千円	95,941千円	98,184千円	0千円
	総人件費	3,870千円	9,492千円	10,953千円	
	総事業コスト	97,614千円	105,433千円	109,137千円	

部等名	課等名	係等名
こども部	こども育成課	放課後育成係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	02	05	11	児童館運営に要する経費

事務事業名	02 児童館運営事業	指標名	児童館利用者数				指標種別	成果指標	指標の概要	各事業実施による児童館利用者数。			
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
		実績	400,749人	415,855人	442,304人								
総合戦略	- - - -	H28年度				H29年度				その他の指標	-		
		改善目標	児童クラブ事業を小学校教室や民間事業者等に委託し事業を実施することで、一般来館者の居場所を確保する。				改善目標	-					
個別計画	つくば市子ども・子育て支援プラン	事業計画	各児童館において、年間事業計画に基づき事業を実施する。また、地域組織活動(母親クラブ)については、引き続き活動を育成し、毎年7月に実施している合同事業により、母親クラブの活動を周知する。				事業計画	児童館運営事業と大曾根児童館(指定管理者委託)事業と統合して実施					
根拠法令等	児童福祉法	活動実績	平成28年度 来館者数442,304人 地域組織活動(母親クラブ) 17団体				上半期活動実績	-					
事業分類	A 任意的事業	成果	地域の子育ての拠点施設として、児童クラブ事業、児童館まつりなど各種事業を実施した。また、母親クラブの活動の拠点として、母親クラブ委員会(職員)で育成した。				上半期成果	-					
執行体制	職員のみ	課題	児童館で行っている行事が恒常化している。地域組織活動(母親クラブ)の会員が減少しているため団体の維持が難しい。				課題	-					
事業の目的	子供同士が共に遊びながら自主性・創造性及び協調性を養い豊かに成長していけるよう指導・援助を行う。また、地域組織活動団体等の子育て支援団体が円滑に活動できるよう助成を行うため。	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠			
事業の概要	・一般来館児童の遊びの指導 ・乳児及び保護者等の交流を助成 ・児童館利用者の怪我等に対応するため施設利用者傷害保険へ加入運営に必要な消耗品の購入及び備品等の修繕 ・地域組織活動(母親クラブ)の育成及び合同事業の実施	有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-						
ISO 14001	H28 環境関連性 H29 環境関連性	評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-					
	地球温暖化の防止 利用者が少なくなる時間帯や夏期の室温が上昇する時間帯は一室で過ごしエアコンを使用することで、エネルギー使用の削減に貢献する。	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			H30年度の方向性	-	理由	-

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費(A)	64,834千円	67,031千円	0千円	0千円
内訳				
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	64,834千円	67,031千円	0千円	0千円
人件費(B)	3,186千円	8,542千円	0千円	
内訳				
正職員	従事割合	0.42人	0.90人	0.00人
	時間外勤務	24.57時間	694.80時間	0.00時間
	臨時職員等	無	無	-
事業コスト(A+B)	68,020千円	75,573千円	0千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	93,744千円	95,941千円	98,184千円	0千円
	総人件費	3,870千円	9,492千円	10,953千円	
	総事業コスト	97,614千円	105,433千円	109,137千円	

部等名	課等名	係等名
こども部	こども育成課	放課後育成係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	02	05	11	児童館運営に要する経費

事務事業名	03 大曽根児童館(指定管理者委託)事業	指標名	児童館利用者数				指標種別	成果指標	指標の概要	各事業実施による児童館利用者数。							
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度						
実績	- - - -		35,656人	37,482人	36,813人												
総合戦略	- - - -		H28年度				H29年度				その他の指標	-					
改善目標	- - - -		居場所等の確保について検討を進める。				-										
個別計画	つくば市児童福祉施設適正化配置計画	事業計画	多世代交流施設を有効活用するための事業を実施する。市民から意見・要望等については、指定管理者による柔軟に対応する。				児童館運営事業と大曽根児童館(指定管理者委託)事業と統合して実施										
根拠法令等	つくば市児童館条例	事業分類	F 施設等維持管理事業														
執行体制	指定管理者	活動実績	平成28年度 来館者数36,813人 平成28年度 児童クラブ員登録数136人/月平均 児童館まつり参加者数601人				上半期活動実績										
事業の目的	指定管理委託により民間の活力を導入し、大曽根児童館を子育て支援の拠点とし、多世代交流・地域交流・子育て支援事業等を実施するため。	成果	地域の子育ての拠点施設として、児童クラブ事業、児童館まつりなど各種事業を実施した。また、多世代交流施設での事業も行った。				上半期成果										
事業の概要	指定管理者による児童館運営管理。子育てルーム活用による子育て世代の支援。多世代交流施設の活用による多世代交流事業の実施。児童クラブ事業の実施。児童館まつりの実施による地域交流の実施	課題	-				-										
ISO 14001	H28 環境関連性	地球温暖化の防止	達成	利用者が少なくなる時間帯や夏期の室温が上昇する時間帯は一室で過ごしエアコンを使用することで、エネルギー使用の削減に貢献する。				事業の進捗状況				達成	改善目標の進捗状況				達成
	H29 環境関連性	地球温暖化の防止	達成	利用者が少なくなる時間帯や夏期の室温が上昇する時間帯は一室で過ごしエアコンを使用することで、エネルギー使用の削減に貢献する。				事業の進捗状況				-	改善目標の進捗状況				-
評価	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-										
	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-										
	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-										
事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	事業実施コスト					H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初			
事業費(A)		28,910千円	28,910千円	0千円	0千円	事業費(A)					28,910千円	28,910千円	0千円	0千円			
国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	国庫支出金					0千円	0千円	0千円	0千円			
県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	県支出金					0千円	0千円	0千円	0千円			
地方債		0千円	0千円	0千円	0千円	地方債					0千円	0千円	0千円	0千円			
その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財					0千円	0千円	0千円	0千円			
一般財源		28,910千円	28,910千円	0千円	0千円	一般財源					28,910千円	28,910千円	0千円	0千円			
人件費(B)		684千円	950千円	0千円		人件費(B)					684千円	950千円	0千円				
内訳	正職員	従事割合	0.09人	0.10人	0.00人	従事割合					0.09人	0.10人	0.00人				
		時間外勤務	5.27時間	77.20時間	0.00時間	時間外勤務					5.27時間	77.20時間	0.00時間				
臨時職員等		無	無	-		臨時職員等					無	無	-				
事業コスト(A+B)		29,594千円	29,860千円	0千円		事業コスト(A+B)					29,594千円	29,860千円	0千円				
H30年度当初積算根拠		-															
H30年度の方向性		-	理由	-													

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	307,884千円	398,588千円	424,666千円	0千円
	総人件費	12,137千円	16,392千円	23,657千円	
	総事業コスト	320,021千円	414,980千円	448,323千円	

部等名	課等名	係等名
こども部	こども育成課	放課後育成係・こども施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	02	05	12	放課後児童対策に要する経費

事務事業名	01	放課後児童クラブ事業	指標名	児童クラブ員数				指標種別	成果指標	指標の概要	児童クラブの12月～1月期の一斉申込みに対する受入児童数。					
戦略プラン	1	2	子育て環境の整備	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度				
				2,122人	2,346人	2,517人	2,688人	2,859人	3,031人			3,213人				
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	平成28年度 小学校敷地内等児童クラブ占有施設整備数 1ヶ所		
	-	-	-	-	改善目標				改善目標							
個別計画	つくば市子ども・子育て支援プラン			事業計画				事業計画				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
根拠法令等	児童福祉法			放課後児童クラブ事業と放課後児童クラブ施設整備事業を統合				学校の余裕教室などを児童クラブ室に整備したり、民間事業者の児童クラブの新規開設を促し、放課後健全育成事業の受入れ枠を拡充する。				事業費(A)	0千円	0千円	424,666千円	0千円
事業分類	A 任意的事業			平成28年度実績は「放課後児童クラブ事業」「放課後児童クラブ施設整備事業」のシートに記載				(仮称)みどりの・葛城北部学園義務教育学校への児童クラブ施設を整備をする。				国庫支出金	0千円	0千円	118,364千円	0千円
執行体制	一部委託			活動実績				上半期活動実績				県支出金	0千円	0千円	118,364千円	0千円
事業の目的	放課後に保育を受けることができない、児童(1年生から6年生)に対して、安全・安心な居場所を提供するため。			成果				上半期成果				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	放課後に保育を受けることができない、児童に対して、遊びを主とした生活の場・活動の場を提供する。			課題				課題				その他特財	0千円	0千円	35,856千円	0千円
ISO 14001	H28環境関連性	-		事業の進捗状況				事業の進捗状況				一般財源	0千円	0千円	152,082千円	0千円
	H29環境関連性	地球温暖化の防止		有効性				有効性				人件費(B)	0千円	0千円	23,657千円	
		各児童クラブでの適正なエアコン使用等で省エネルギーに貢献する。		効率性				効率性				正職員	0.00人	0.00人	3.00人	
				総合評価				総合評価				内職	0.00時間	0.00時間	514.00時間	
												臨時職員等	-	-	無	
												事業コスト(A+B)	0千円	0千円	448,323千円	
												H30年度当初積算根拠	-			
												H30年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	307,884千円	398,588千円	424,666千円	0千円
	総人件費	12,137千円	16,392千円	23,657千円	
	総事業コスト	320,021千円	414,980千円	448,323千円	

部等名	課等名	係等名
こども部	こども育成課	放課後育成係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	02	05	12	放課後児童対策に要する経費

事務事業名	02	放課後児童クラブ事業	指標名	児童クラブ員数				指標種別	成果指標	指標の概要	児童クラブの12月～1月期の一斉申込みに対する受入児童数。			
戦略プラン	1	2	子育て環境の整備	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
				2,122人	2,346人	2,517人	2,688人	2,859人	3,031人			3,213人		
総合戦略	-	-	-	-	実績				2,175人		2,606人	2,843人	その他の指標	-
	-	-	-	-	H28年度				H29年度					
個別計画	つくば市子ども・子育て支援プラン			改善目標	小学校敷地内、民間事業者への委託により、児童クラブ事業の受入れ枠を拡充する。				改善目標	-				
根拠法令等	児童福祉法			事業計画	学校施設の借用のため教育局と協議。民間事業者への委託。とも、国・県の補助金対象事業のため、次年度の所要額調査(7月上旬)までにする。				事業計画	放課後児童クラブ施設整備事業と統合して実施				
事業分類	A 任意的事業			活動実績	平成28年度61クラブ(公営20クラブ、民営41クラブ)受入れ児童数2,843人(4年生以上541人含む)				上半期活動実績	-				
執行体制	一部委託			成果	子どもの放課後の居場所が拡大出来た。				上半期成果	-				
事業の目的	放課後に保育を受けることができない、児童(1年生から6年生)に対して、安全・安心な居場所を提供するため。			課題	待機児童が発生しているため、新たな児童クラブの整備が必要となる。				課題	-				
事業の概要	放課後に保育を受けることができない、児童に対して、遊びを主とした生活の場・活動の場を提供する。			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-	
	H28環境関連性	-		有効性	中:適切な成果が得られている		有効性	-						
ISO 14001	H29環境関連性	地球温暖化の防止		効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-						
		各児童クラブでの適正なエアコン使用等で省エネルギーに貢献する。		総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-						
				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初			H30年度の方向性	-	理由	-
				事業費(A)	280,348千円	322,432千円	0千円	0千円						
				国庫支出金	0千円	84,735千円	0千円	0千円						
				県支出金	135,652千円	84,735千円	0千円	0千円						
				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円						
				その他特財	35,856千円	35,856千円	0千円	0千円						
				一般財源	108,840千円	117,106千円	0千円	0千円						
				人件費(B)	6,827千円	8,277千円	0千円	0千円						
				正職員	0.90人	1.02人	0.00人	0.00人						
				従事割合	52.65時間	262.00時間	0.00時間	0.00時間						
				時間外勤務										
				臨時職員等	無	無	無	無						
				事業コスト(A+B)	287,175千円	330,709千円	0千円	0千円						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	307,884千円	398,588千円	424,666千円	0千円
	総人件費	12,137千円	16,392千円	23,657千円	
	総事業コスト	320,021千円	414,980千円	448,323千円	

部等名	課等名	係等名
こども部	こども育成課	こども施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	02	05	12	放課後児童対策に要する経費

事務事業名	03	放課後児童クラブ施設整備事業	指標名	放課後児童クラブ専有施設数				指標種別	成果指標	指標の概要	小学校敷地内等児童クラブ専有施設整備数。	
戦略プラン	1	2	子育て環境の整備	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度
総合戦略	1	1	子育て環境の整備	実績	3ヶ所	1ヶ所	1ヶ所					
個別計画	つくば市子ども・子育て支援プラン			H28年度				H29年度				
根拠法令等	児童福祉法			改善目標	小学校敷地内、民間事業者への委託により、児童クラブ事業の受入れ枠を拡充する。				改善目標	-		
事業分類	A 任意的事業			事業計画	小中一貫義務教育学校3校(仮称:秀峰筑波,みどりの,葛城北部)への児童クラブ施設整備する。				事業計画	放課後児童クラブ事業と統合して実施		
執行体制	職員のみ			活動実績	旧筑波保健センターを改修工事し、(仮称)秀峰筑波義務教育学校の児童クラブ専有施設として整備した。				上半期活動実績	-		
事業の目的	放課後児童の安全・安心な居場所の確保のため。			成果	子どもの放課後の居場所が拡大出来た。				上半期成果	-		
事業の概要	放課後の児童の居場所の確保及び児童クラブ員の生活環境改善のため。			課題	待機児童が発生しているため、新たな児童クラブの整備が必要となる。				課題	-		
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	
	H29環境関連性	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている	評価	有効性	-			
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-			
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-			
その他の指標											-	
事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初							
事業費(A)		27,536千円	76,156千円	0千円	0千円							
内訳	国庫支出金	6,340千円	0千円	0千円	0千円							
	県支出金	6,340千円	0千円	0千円	0千円							
	地方債	0千円	57,600千円	0千円	0千円							
	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円							
一般財源		14,856千円	18,556千円	0千円	0千円							
人件費(B)		5,310千円	8,115千円	0千円								
内訳	正職員	従事割合	0.70人	1.00人	0.00人							
	時間外勤務	40.95時間	257.00時間	0.00時間								
臨時職員等		無	無	無								
事業コスト(A+B)		32,846千円	84,271千円	0千円								
H30年度当初積算根拠											-	
H30年度の方向性											-	
理由											-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	59,800千円	15,558千円	87,576千円	0千円
	総人件費	2,732千円	3,400千円	9,224千円	
	総事業コスト	62,532千円	18,958千円	96,800千円	

部等名	課等名	係等名
こども部	こども育成課	こども施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	02	05	13	児童館管理に要する経費

事務事業名		01 児童館施設維持管理事業		指標名	大規模改修児童館数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	計画に基づき整備する
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度		
総合戦略		- - - -		実績	1館	2館	1館	2館	1館	-	1館	その他の指標	-
個別計画		児童館整備計画		H28年度				H29年度					
根拠法令等		児童福祉法		改善目標	中長期的な計画に基づき改修を実施する。				改善目標	中長期的な計画に基づき大規模な改修を実施する。			
事業分類		F 施設等維持管理事業		事業計画	吉沼児童館外壁等改修工事を実施する。工期は9月から12月末日。				事業計画	・谷田部・吾妻西児童館の防水塗装工事を8月から実施する。 ・施設からの要望により、修繕をその都度実施していく。			
執行体制		職員のみ		活動実績	吉沼児童館屋根塗装外壁工事を実施。				上半期活動実績	-			
事業の目的		地域の子育て支援の拠点となる施設である児童館の施設管理委託及び修繕等の維持管理を行うため。		成果	児童館利用者にとって安全で安心して過ごせる居場所となった。				上半期成果	-			
事業の概要		児童館機械警備委託及び消防施設点検等の施設管理委託 福祉施設定期点検実施 児童館施設の修繕工事の実施 耐震診断の結果に基づき、補強工事が必要な場合には実施する。		課題	児童館設置後、経年劣化に伴う長寿命化を図るための改修工事を実施する。児童館を18館設置しているため計画的に実施する必要がある。				課題	-			
ISO 14001	H28 環境関連性	地球温暖化の防止 達成 利用者が少なくなる時間帯や夏期の室温が上昇する時間帯は一室で過ごしエアコンを使用することで、エネルギー使用の削減に貢献する。		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-
	H29 環境関連性	-		評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-			
				評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-		H30年度の方向性	理由
				評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-			

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費(A)	59,800千円	15,558千円	87,576千円	0千円
内訳				
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	10千円	0千円	0千円
一般財源	59,800千円	15,548千円	87,576千円	0千円
人件費(B)	2,732千円	3,400千円	9,224千円	
内訳				
正職員	従事割合	0.36人	0.45人	1.22人
内職	時間外勤務	21.00時間	21.00時間	60.00時間
臨時職員等		無	無	無
事業コスト(A+B)	62,532千円	18,958千円	96,800千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	3,742千円	4,515千円	8,552千円	0千円
	総人件費	1,196千円	3,875千円	11,383千円	
	総事業コスト	4,938千円	8,390千円	19,935千円	

部等名	課等名	係等名
こども部	こども育成課	放課後育成係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	18	放課後子供教室推進に要する経費

事務事業名		01	放課後子供教室推進事業				指標名	実施対象学校数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	実施対象学校数				
戦略プラン		-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
総合戦略		-	-	-	-	実績	33	38	37	37	38	38										
個別計画		-					H28年度				H29年度				その他の指標	平成29年度から実施回数(年170回)						
根拠法令等		つくば市放課後子供教室推進事業実施要項 つくば市放課後子供教室運営協議会設置要項					改善目標	放課後子ども総合プランに基づき、放課後子供教室とこども課で実施している放課後児童クラブとの連携を更に強化する。				改善目標	活動プログラムを、教育活動推進員の拡充等により多様化させ、質・量ともに向上させる。また、「放課後子ども総合プラン」に基づき、児童館を利用した放課後児童クラブとの一体型実施を行う。									
事業分類		E 補助金・負担金事業					事業計画	放課後子ども総合プランに基づき、一体型を中心とした放課後子供教室及び放課後児童クラブの実施整備を進める。 4月 放課後子供教室の実施希望調査 5月 第1回放課後子供教室運営協議会 6月～翌年2月 放課後子供教室実施 2月 第2回放課後子供教室運営協議会 3月 実績集計				事業計画	放課後子ども総合プランに基づき、一体型を中心とした放課後子供教室及び放課後児童クラブの実施を進める。 学校を通じて教育活動サポーターの募集を随時実施する。 4月 放課後子供教室の実施希望調査 6月～翌年2月 放課後子供教室実施 9月～12月 児童館で放課後子供教室を実施 2月 次年度コーディネーターの募集 3月 実績集計				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
執行体制		補助金(間接)					活動実績	県立つくば特別支援学校を含む、市内全小学校を対象校とし、5月～3月開催で169回実施した。 学校施設を児童クラブとして活用するため、こども課との連携し、学校との調整を実施、モデル校の選定を実施した。 4月 放課後子供教室実施希望調査に基づき実施日を決定 5月 第1回つくば市放課後子供教室運営協議会を実施 10月 こども課主催児童館長会議にて児童クラブと放課後子供教室の一体型連携について協議 2月 第2回つくば市放課後子供教室運営協議会を実施 3月 事業実績集計				上半期活動実績	-				内訳	事業費(A)	3,742千円	4,515千円	8,552千円	0千円
事業の目的		小学校及び義務教育学校の余裕教室等を活用し、地域住民の参画を得て、子供たちに様々な体験活動や交流活動の機会を提供する。情操教育・世代間交流の場となるだけでなく、地域全体で子供たちを育てていくという意識の向上を図るため。					成果	地域ボランティアを活用し、参加児童の増加に学校教職員の協力を得ながら対応できた。児童館への年間計画や申込名簿を提供し情報共有を行い、コーディネーターと児童館スタッフで行える体制を整え、連携が図られた。				上半期成果	-					国庫支出金	1,189千円	870千円	1,466千円	0千円
事業の概要		市内小学校及び義務教育学校において、余裕教室等を利用し、全児童対象に放課後子供教室を開催する。地域住民の参画を得て、様々な体験活動や交流活動等を行い、豊かな遊びと学びの機会を提供する。					課題	参加児童の増加傾向に対し、参加児童が安全に活動できるよう、教育活動サポーターの確保。コーディネーターの増員。放課後児童クラブとの一体型実施。				課題	-				県支出金	1,189千円	869千円	1,465千円	0千円	
ISO 14001		H28環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円				
		H29環境関連性	-			評価	有効性	中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
			-				効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-			一般財源	1,364千円	2,776千円	5,621千円	0千円		
			-				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-			人件費(B)	1,196千円	3,875千円	11,383千円			
			-													正職員	従事割合	0.15人	0.50人	1.50人		
			-													時間外勤務	30.00時間	60.00時間	90.00時間			
			-													臨時職員等	無	有	無			
			-													事業コスト(A+B)	4,938千円	8,390千円	19,935千円			
			-													H30年度当初積算根拠	-					
			-													H30年度の方向性	-	理由	-			